

年齢や性別を超え、誰もが健やかに暮らし、未来が輝くまちづくり ～未来の福祉への備え～

当市の人口は、2045年には3万1千170人と1983年のピーク時の約5割程度にまで減少する一方、高齢化率は約48パーセントと約2人に1人が65歳以上の高齢者になると推計されています。人口減少や本格化する超高齢社会の中、男女の別なく、子どもたちが未来に夢を描きながら健やかに育ち、また、現代社会の基礎を築いてきた高齢者が『ふるさと登別』で充実した人生を過ごすなど、住み慣れた地域で誰もが健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、市民の健康づくりに積極的に取り組む必要があります。

そのため、特色ある介護予防活動や支援を必要とする高齢者へ地域が一体となった支え合い活動の推進を図るなど、高齢者が活躍できる将来を見据えた地域社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。



また、未来を担う子どもたちが、公民を問わず地域が一体となって支える子育て環境で成長することができるよう、母親が妊娠・出産し、子どもから社会人となるまでの成長過程に応じた切れ目のない支援は、持続的に発展するまちづくりには欠かせないものであり、子どもの人間形成の基礎を培う幼児期の保育・教育は、子どもたちの将来に影響を与える極めて重要なものです。

公立保育所においてこれまで培われた『保育』に加え、民間の技術や手法を取り入れた『幼児教育』の一体的な提供を図るとともに、多様化する保育需要への柔軟な対応や地域の子育て支援を充実させるため、これまで以上に質の高い保育サービスの提供を基本として、民間の力を活用しながら新たな保育環境を構築していきます。

保育所の民間委託

保育所については、子どもたちをより良い環境で育むことができるよう、すでに実施している登別保育所の民間委託に加え、栄町保育所と幌別東保育所についても2020年度以降の民間委託を目指し、事務を進めていきます。

特に、栄町保育所については、民間委託後、民間による運営の素地を作りながら、2024年度を目途に、千代の台団地の敷地内への設置による民間移譲に向けた検討を進めていきます。

現在、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園や認定こども園において、長期休業日などに3歳以上の児童を一時的に預かる『一時預かり事業』を実施していますが、保護者の就労形態の多様化をふまえ、保育を必要とする2歳児の一時預かりについても平成31年度から新たに幼稚園に委託し、実施していきます。

子育て支援サービスなどの充実

子どもたちが健やかに成長することのできる環境の構築を目指し、平成31年度までの子育て支援サービスなどを定めた『子ども・子育て支援事業計画』の計画期間が終了することから、市民の子育てに関するニーズ調査などを実施するとともに、子ども・子育て会議などでの意見をふまえ、平成31年度末までに計画を改定します。

幌別東保育所



栄町保育所



子どもショートステイについては、昨今の多種多様な問題を抱える家庭の需要に柔軟に対応するため、これまでの児童養護施設に加え、里親による養育の体制を整えていきます。

産後支援の充実

産後うつ予防や新生児への虐待予防を図るため、平成31年4月から、産後2週間前後の産婦で、産後うつを発症する可能性のある方を対象に、産婦健康診査に係る経費を新たに助成するとともに、育児や体調面で不安などのある産後4カ月未満の産婦に対して心身のケアや育児等のサポートを行う産後ケア事業を実施していきます。

さらに、保護者や児童等を対象とした保健師などによる問診や集団遊びなどの5歳児相談を新たに実施し、妊娠期から就学まで切れ目のない支援体制の整備を進めていきます。